

第6回 大阪狭山市総合計画審議会 議事概要

開催日時	令和2年12月19日(土) 13時00分～14時10分
開催場所	大阪狭山市役所 3F 第一会議室
出席者	上甫木委員、溝手委員、地下委員、久委員、久才委員、菊屋委員、中嶋委員、鈴木委員、吾妻委員、宮下委員、上田委員、大西委員、田中委員、時本委員、中川委員、福田委員
欠席者	小野委員、内山委員、渡邊委員、小松委員
事務局	政策推進部長、政策推進部理事、政策推進部企画グループ課長、政策推進部企画グループ参事、政策推進部企画グループ主査、政策推進部企画グループ会計年度任用職員
傍聴者	2名
議題(案件)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 議事 (1)第五次大阪狭山市総合計画(素案)について 3. その他 4. 閉会
資料	資料1 第5回大阪狭山市総合計画審議会における委員の意見と審議会としての方向性(案) 資料2 第五次大阪狭山市総合計画(素案) 資料3 第五次大阪狭山市総合計画(素案)新旧対照表(主な見直し部分)

議 事 の 経 過	
発言者	発言の内容
事務局	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の確認 ・委員 20 名中 16 名が出席しており、審議会が成立していることを確認。
会長 事務局 委員	<p>2 議事</p> <p>(1)第五次大阪狭山市総合計画（素案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料説明をお願いします。 (資料説明) ・資料 2 の 6 ページ②各中学校区のまちづくりの方向性で、前回の議論を踏まえて「計画の策定」という表現から「示します」と変更頂いたが、その他は変更ないのか。
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「第五次総合計画によるまちづくりを進める中で、まちづくり円卓会議等による地域ビジョンの策定をめざします」という文章を新たに追加している。 ・総合計画と切り離すということなので、計画の構成で①体系別計画、②各中学校区のまちづくりの方向性と書かれていると、初見だと計画が別々にあるという形に見えてしまうのではないか。 ・図で、基本構想、基本計画、実施計画に協働・連携という形で、各中学校区のまちづくりの方向性が描かれているが、参考資料として中学校区の方向性を出すのであれば、そこで表記して総合計画の中に書かなくてよいのではないか。 ・当初は地域別計画と書いていたので、①と②で表記していたが、計画の構成は基本構想、基本計画、実施計画なので、図では示さずに文章で説明し、別紙の参考資料となっていると書いたほうがわかりやすいのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 1 で、「総合計画の考え方が 1 つの背景になりながら、中学校区ごとに地域ビジョンを作ってほしいとの考え方を示すことができればよい」と前回ご意見を頂戴したので、資料 2 の 6 ページに「方向性とは今後、まちづくりを進める中で円卓会議等による地域ビジョンの策定をめざします」と文章化させて頂いている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり市民会議にも出席したが、計画書の中に書かれているのは違和感がある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり市民会議としては、各中学校区の特色について議論したが、中学校区ごとで特色は出せないという意見も多く、結論は出ていないのでまだ議論が必要だと思う。 ・まちづくり市民会議も回数を重ねて行ってきたので、実績を示すという意味では計画書に示しても良いのではないか。そうでなければ、別冊等で載せないともまちづくり市民会議を行った意味がなくなってくる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・委員の意見にあるように、地域でオーソライズされてない状態で、まちづく

<p>会長</p>	<p>り市民会議の提案書が方向性として入っていることが課題だと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 委員の指摘のように、総合計画の体系としては、基本構想、基本計画、実施計画となっているが、今後、各中学校区のまちづくりの方向性というのも時間を掛けて地域の方々と一緒に考えていきたいという説明文を入れて、まちづくり市民会議から提案いただいたものをベースに参考資料として方向性を付け加えていると記述すれば、分かりやすくなるのではないか。 総合計画の策定に関しては、地域レベルでの計画の必要性が当初から議論されてきたが、大阪狭山市は市民協働に取り組んできており、次の展開として地域の多様な課題を中学校区会議で議論していくとのことで、共有はできていると思う。 委員の指摘のように、計画書には、学校単位の方向性につながることをめざしているとの説明にして、中学校区のまちづくりの方向性の実態は委員のご提案のとおり、参考資料として書いておくということで良いのではないか。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資料 2 の 105 ページにある自治会等への加入率の指標だが、目標値が現状から 3.3%しか上がっていない。加入率を上げるのは難しいと思うが、目標値を 60%にするのではなく、70%にする等の姿勢を見せないと市民との協働は進んでいかないのではないか。 また、市民との協働でも市が支援するとの表記があるが、市が主体となって自治会を盛り上げていくといった表現等、市の姿勢が伝わる文章を加えてほしい。
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> これまで自治会の枠組み以外でも、市民が議論できる場が必要だと話がされてきたので、自治会は自治会で盛り上げていくが、地域課題を考える起業家や若者などが新たに地域活動に関わっていくような受け皿を作っていくといった点についても書き込んでいくと良いのではないか。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資料 1 の 45 ページ「安心して子どもを産み育てられる環境づくり」で、支援制度等が書かれているが、大前提として近所付き合いをして地域が環境を作っていくという点が大事だと思う。 市民協働について、行政の縦割りによって各課で連携して取り組めていないとこれまで意見をしてきたが、横断的視点で取り組むとは書かれているが、具体的にどうしていくか等の方向性を 104 ページの「施策の推進に向けて」で示した方が良いのではないか。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自治会等への加入率については、新型コロナウイルス流行の影響もあり、従来の対面式のコミュニティではなく、オンラインを重視する若者も増えてきている。インターネット等、様々なツールの普及で、日常が家の中で完結する人たちにとっては、まちとの関わりを求めているので、自治会の加入も検討しない。このような人たちも今後増えていくと考えた方が良いのではないか。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資料 2 の 105 ページ施策 20 (2) で「コミュニティ活動への参加を促進し、コミュニティ活動の活性化を図ります」と文章が入っているので、問題ないと思う。今、議論になっているのは、次の 10 年間で具体的にどう動かしてい

委員	<p>くかということなので、そこをしっかりと動かしていただければと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪狭山市も協働の仕組みづくり、あるいは住民自治の仕組みづくりについて時間をかけて議論をしていけば、これまで委員が指摘していた課題等についての話は進むと思うので、運営面で市役所にも頑張ってもらいたい。 ・支援だと、バックアップをするということなので、行政が主体となり、積極的に取り組み、ニーズ等に対して対策を打っていくことが大事ではないか。 ・例えば、自治会等の問題についても、市が解決に向けて率先して取り組むことで、自治会のやる気にもつながり加入率も上がるのではないか。 ・支援という言葉が、少し引っ掛かる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの流行により、市の財政状況も悪化することが想定される中で、地域で頑張ってもらえるような仕組みをつくっていかないと行政は成り立たない。 ・現在、新型コロナウイルスの感染が拡大し、今後、財政状況は悪くなっていく。そうなっていったとき、市はお金を使えない。だから、人をうまく使っていく方法等を、市は考えなくてはならない。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 2 の 104 ページと 105 ページ、「施策の推進に向けて」の施策の背景等に、意見のあった地域課題を他人事ではなく自分事として捉えていく自治会の必要性、自治会以外の多様な地域活動を受け止める仕組みの必要性等を 1 つはここで書ければ良いと思う。 ・委員からの指摘もあったように、行政が支援として行うという地域に預ける話ではなく、地域と一緒に運営に関わっていくということであれば、支援という言葉に付け加えて、協働していく等の表現も少し入れてはどうか。 ・自治会の目標値に関しては、加入率 70% との話もあったが、まずは現状の 3 分の 2 程度を維持して、自治会の重要性を認識しながら、それ以外の地域課題を支える組織、仕組みをつくっていくことも大事ではないか。 ・これまで議論してきたように、中学校区単位での地域ビジョンが重要になってくるのではないか。ボランティアだけでなく、ミッションというか、何かの権限を与えることも考えていく必要があるのではないか。この点は、次の地域ビジョンの中でやっていただきたいということは書いても良いと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 2 の 75 ページ行政の取組内容「(1) 憩える公園、遊べる公園の整備」で、「ニーズに沿った公園整備を進めます」とあるが、公園とはどうあるべきか再検討をすることも必要ではないか。整備だけでなく、例えば公園の利用やマナーについての啓発や公園の管理等も必要ではないか。 ・公園は、地域の人に関わって考えていく必要があり、自分たちでどう使いたいというニーズや地域の実情に沿った公園整備を進めるといった表現が良いのではないか。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ごとに事情が違うので、地域に関わっていくということで運営等の言葉も入れてもらったら、今の話が少しは前に進むのではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 2 の 70 ページ「便利で快適な道路交通環境の形成」とあるが、高齢ドライバーの免許返納についても触れられているが、私の周りでも返納した後の

事務局	<p>交通手段がないとの悩みが多く、ここでの文章表現はこのままで良いと思うが、行政から対策や具体策をアピールしていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの議論で、今ある公共交通を積極的に活用していただき、行政は事業として支援をしていく取組みも必要だとの話もあったので、市民・事業者の取組内容として「超高齢化社会を見据え、暮らしを支える移動手段を維持するため、バス、鉄道などの公共交通を積極的に利用します」と文章化している。利用してもらえるような啓発や支援を市が行っていきたいと考えており、先進事例も参考に今後検討していきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 資料 2 の 68 ページ「快適で魅力ある都市空間の形成」の進捗指標で、不良度 D ランクの空き家数の基準値が 10 戸とあるが、数の問題ではなく 1 軒でもあれば、ごみ問題など周辺の住環境が悪化する可能性がある。問題の解決に向けて、権利関係が障がいとなるので積極的な条例化、条例設置も含めて取り組めますのような表現を入れておくと今後の対応がスムーズに進むのではないかと。法整備のことなので行政にお任せする。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 国でも空き家対策特別措置法を作っており、活用すれば対策などは進むが、所有者の協力が必要なので、今ある法を活用しながら市がきめ細かな動きをしたほうが良いのではないかと。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 法整備が難しければ、行政が対応できることを文章化していただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 行政の中に相談窓口を設置していくということはどうか。問題を抱えていても所有者が個人名義なので踏み込んだ話ができない際に、話ができる場所が市の中にあれば良いのではないかと。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 大阪狭山市でも空き家対策の計画があるので、それに基づいて議論をこれから深めていければ良いかと思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 今回出た空き家に関する意見は、どこかで書き込む方向で担当課と相談をお願いする。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 57 ページの進捗状況を見る主な指標の「がん検診受診率」について、母数は何かを調べておく必要がある。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 本日いただいた意見を踏まえ、答申案を作りたいと思う。答申案の決定については、私に一任いただいでよろしいか。
全委員	<ul style="list-style-type: none"> 異議なし。
会長	<ul style="list-style-type: none"> それでは、そのようにさせていただく。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 本日の議論の内容について、会長にも相談をして素案を取りまとめていく。
事務局	<p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 本日は限られた時間の中多くの意見を頂き感謝申し上げます。 頂戴した意見を踏まえ、会長と協議のうえ答申をまとめていく。年明けに委員を代表して、会長から市長へ答申いただく予定となっている。 答申後、翌年 1 月 12 日から 2 月 1 日までパブリックコメントを実施予定である。
会長	<ul style="list-style-type: none"> これにて閉会する。 (終了)

